

1. 当年度事業計画関係

就労に向けた準備が整っていない生活困窮者及び被保護者に対して、就労準備支援プログラムを作成し、一般就労に向けた準備としての基礎能力の形成を、計画的かつ一貫して支援することにより、生活困窮者及び生活保護受給者の就労及び自立の促進を図りました。

2. 就労準備支援事業の対象者

就労準備支援事業の対象となる者（以下「対象者」という。）は、吹田市内に居住し、事業の利用を申請した日において65歳未満の者である生活困窮者と生活保護受給者であること、また、吹田市生活困窮者自立相談支援センター担当者のアセスメントにおいて、日常生活習慣、基礎技能等を習得することにより将来的に就労が見込まれる者を対象者としました。

- ・ 令和2年度就労準備支援事業 開始人数 14件
(男性 14件 女性 0件)
- ・ 令和2年度就労準備支援事業就労体験 実施人数 6件
(男性 6件 女性 0件)
- ・ 令和2年度就労準備支援事業職場見学 実施人数 0件
(男性 0件 女性 0件)

3. 職員配置

千里寮支援専門員2名を配置しました。

4. 就労支援プログラムの作成

吹田市生活困窮者相談自立支援センターが作成した自立支援プランとは別に就労支援プログラムを作成して支援を実施しました。

① 生活習慣の形成を促すため、規則正しい起床・就寝、バランスのとれた食事の摂取、適切な身だしなみに関する日常生活に関する助言と支援を行いました。

② 社会的能力の形成を促すため、あいさつの励行など、基本的なコミュニケーション能力の形成に向けた支援や地域の事業所での職場見学（第一管財）、一般企業の工場見学（ヤマト運輸）、北山田小学校通学路花壇整備、古江台地域児童公園のボランティア清掃活動など、社会生活自立に関する支援を行いました。

③ 一般就労に向けた技法や知識の習得を促すため、実際の職場での就労体験の機会の提供（千里寮・特別養護老人ホームあすーる吹田）やビジネスマナー講習、キャリア・コンサルティング、模擬面接、履歴書作成の就労自立に関する支援を行いました。

- ・ 令和2年度就労準備支援事業から一般就労に結びついた件数5件
(男性5件 女性0件)
- ・ 令和2年度就労準備支援事業から就労訓練事業に結びついた件数2件
(男性2件 女性0件)

5. 利用定員

15名

6. 実施方式

就労体験の実施については、千里寮及び特別養護老人ホームあすーる吹田の協力を得て3名実施しました。また、ケースワーカーの家庭訪問同行等を行いました。

7. 救護施設千里寮就労訓練事業との連携

毎月合同会議を実施し、日常生活・社会生活自立支援のノウハウ共有を進め、千里寮での就労体験を3名行いました。